

理工学部（学士（工学））の教育課程の編成及び実施に関する方針

理工学部（学士（工学））は、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得させるために、先端の技術・理論の創成と情報化・国際化に対応できる教養・基礎教育と応用を体系的に修得できる実践的な教育を行うため、次の方針に基づいて教育課程を編成し、実施する。また、学生に対して各授業の方法、内容及び計画、学修の成果に係る評価の基準をあらかじめ明示するとともに、学修成果の評価に関しては、基準にしたがって適切に行う。

卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針
構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)	
幅広い教養と高い倫理観	<p>【DP1】 広範な分野の教養科目を履修することにより、幅広い教養と高い倫理観及び国際情勢を把握できる知識を身に付けている。また、変化する社会状況において実践と省察により、改善する能力を身に付けている。</p>	<p>【CP1】 学習意欲を高める動機付けと、専門教育科目を学ぶ上で必要となる基本的な学習技術を修得させることを目的として、インセンティブ教育科目を設置するとともに、自ら目標を定め、その実現に向けて自ら考え、行動することのできる人材を養成するため、「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1・2」を設置する。</p> <p>【CP2】 人間と社会及び国際情勢に関する包括的な知識の修得と高い倫理観を醸成し、それに基づく分析力、発想力及び省察力の涵養を目指す教養教育科目、広い視野と柔軟な応用性を養う基礎教育科目、国際化に対応する外国語科目、人間力の向上と全人的な成長の基礎となる健全な心身を養う保健体育科目を設置する。</p> <p>【CP3】 工学を専門分野とする学科においては、科学技術及び数学・物理学・化学を基礎とする応用科学を追求するための専門分野の理論と応用を体系的に修得し、実践的な教育を実施できる専門科目を設置する。</p>
国際情勢を把握できる知識	<p>【DP1】 広範な分野の教養科目を履修することにより、幅広い教養と高い倫理観及び国際情勢を把握できる知識を身に付けている。また、変化する社会状況において実践と省察により、改善する能力を身に付けている。</p>	<p>【CP1】 学習意欲を高める動機付けと、専門教育科目を学ぶ上で必要となる基本的な学習技術を修得させることを目的として、インセンティブ教育科目を設置するとともに、自ら目標を定め、その実現に向けて自ら考え、行動することのできる人材を養成するため、「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1・2」を設置する。</p> <p>【CP2】 人間と社会及び国際情勢に関する包括的な知識の修得と高い倫理観を醸成し、それに基づく分析力、発想力及び省察力の涵養を目指す教養教育科目、広い視野と柔軟な応用性を養う基礎教育科目、国際化に対応する外国語科目、人間力の向上と全人的な成長の基礎となる健全な心身を養う保健体育科目を設置する。</p> <p>【CP5】 3年次までに修得した知識やスキルを統合し、問題の発見・解決に取り組み、また未知の真理を探究する卒業研究を行い、これを通して、挑戦力、協働性、課題探究力、論理的批判能力を醸成し、コミュニケーション能力、及び創造的思考力を発揮できる総合的な能力を養う。</p>
卒業研究を通して身に付ける論理的・批判的思考力	<p>【DP2】 工学における各学科の教育目標に応じて体系的に編成された教育課程の学修により、専門的知識・技術に関わる様々な課題を主体的に発見、分析し、その解決に向かって挑戦する力を身に付けている。</p> <p>【DP3】 卒業研究を通して、文章力、コミュニケーション能力、論理的・批判的思考力、問題解決力及び創造的思考力を身に付け、様々な分野において、他者と協力しつつ、リーダーシップ・協働性を発揮できる総合的な能力を身に付けている。</p>	<p>【CP1】 学習意欲を高める動機付けと、専門教育科目を学ぶ上で必要となる基本的な学習技術を修得させることを目的として、インセンティブ教育科目を設置するとともに、自ら目標を定め、その実現に向けて自ら考え、行動することのできる人材を養成するため、「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1・2」を設置する。</p> <p>【CP3】 工学を専門分野とする学科においては、科学技術及び数学・物理学・化学を基礎とする応用科学を追求するための専門分野の理論と応用を体系的に修得し、実践的な教育を実施できる専門科目を設置する。</p> <p>【CP4】 卒業時に学生が本学部・学科の課した教育目標を達成しているかどうかを評価し、学力の保証された卒業生を社会に送り出すために、卒業達成度評価科目を設置する。</p> <p>【CP5】 3年次までに修得した知識やスキルを統合し、問題の発見・解決に取り組み、また未知の真理を探究する卒業研究を行い、これを通して、挑戦力、協働性、課題探究力、論理的批判能力を醸成し、コミュニケーション能力、及び創造的思考力を発揮できる総合的な能力を養う。</p>
教育課程の学修により、専門的知識・技術に関わる様々な課題を主体的に発見、分析する能力と卒業研究を通して身に付ける問題解決力	<p>【DP2】 工学における各学科の教育目標に応じて体系的に編成された教育課程の学修により、専門的知識・技術に関わる様々な課題を主体的に発見、分析し、その解決に向かって挑戦する力を身に付けている。</p> <p>【DP3】 卒業研究を通して、文章力、コミュニケーション能力、論理的・批判的思考力、問題解決力及び創造的思考力を身に付け、様々な分野において、他者と協力しつつ、リーダーシップ・協働性を発揮できる総合的な能力を身に付けている。</p>	<p>【CP1】 学習意欲を高める動機付けと、専門教育科目を学ぶ上で必要となる基本的な学習技術を修得させることを目的として、インセンティブ教育科目を設置するとともに、自ら目標を定め、その実現に向けて自ら考え、行動することのできる人材を養成するため、「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1・2」を設置する。</p> <p>【CP3】 工学を専門分野とする学科においては、科学技術及び数学・物理学・化学を基礎とする応用科学を追求するための専門分野の理論と応用を体系的に修得し、実践的な教育を実施できる専門科目を設置する。</p> <p>【CP4】 卒業時に学生が本学部・学科の課した教育目標を達成しているかどうかを評価し、学力の保証された卒業生を社会に送り出すために、卒業達成度評価科目を設置する。</p> <p>【CP5】 3年次までに修得した知識やスキルを統合し、問題の発見・解決に取り組み、また未知の真理を探究する卒業研究を行い、これを通して、挑戦力、協働性、課題探究力、論理的批判能力を醸成し、コミュニケーション能力、及び創造的思考力を発揮できる総合的な能力を養う。</p>

※DPはディプロマ・ポリシーの略、また、CPはカリキュラム・ポリシーの略。

卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針
構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)	
様々な課題を主体的に発見、分析し、解決に向かって挑戦する力	<p>【DP2】 工学における各学科の教育目標に応じて体系的に編成された教育課程の学修により、専門的知識・技術に関わる様々な課題を主体的に発見、分析し、その解決に向かって挑戦する力を身に付けている。</p> <p>【DP3】 卒業研究を通して、文章力、コミュニケーション能力、論理的・批判的思考力、問題解決力及び創造的思考力を身に付け、様々な分野において、他者と協力しつつ、リーダーシップ・協働力を発揮できる総合的な能力を身に付けている。</p>	<p>【CP1】 学習意欲を高める動機付けと、専門教育科目を学ぶ上で必要となる基本的な学習技術を修得させることを目的として、インセンティブ教育科目を設置するとともに、自ら目標を定め、その実現に向けて自ら考え、行動することのできる人材を養成するため、「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1・2」を設置する。</p> <p>【CP5】 3年次までに修得した知識やスキルを統合し、問題の発見・解決に取り組み、また未知の真理を探究する卒業研究を行い、これを通して、挑戦力、協働力、課題探究力、論理的批判能力を醸成し、コミュニケーション能力、及び創造的思考力を発揮できる総合的な能力を養う。</p>
卒業研究を通して身に付けるコミュニケーション能力	<p>【DP1】 広範な分野の教養科目を履修することにより、幅広い教養と高い倫理観及び国際情勢を把握できる知識を身に付けている。また、変化する社会状況において実践と省察により、改善する能力を身に付けている。</p> <p>【DP2】 工学における各学科の教育目標に応じて体系的に編成された教育課程の学修により、専門的知識・技術に関わる様々な課題を主体的に発見、分析し、その解決に向かって挑戦する力を身に付けている。</p> <p>【DP3】 卒業研究を通して、文章力、コミュニケーション能力、論理的・批判的思考力、問題解決力及び創造的思考力を身に付け、様々な分野において、他者と協力しつつ、リーダーシップ・協働力を発揮できる総合的な能力を身に付けている。</p>	<p>【CP1】 学習意欲を高める動機付けと、専門教育科目を学ぶ上で必要となる基本的な学習技術を修得させることを目的として、インセンティブ教育科目を設置するとともに、自ら目標を定め、その実現に向けて自ら考え、行動することのできる人材を養成するため、「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1・2」を設置する。</p> <p>【CP2】 人間と社会及び国際情勢に関する包括的な知識の修得と高い倫理観を醸成し、それに基づく分析力、発想力及び省察力の涵養を目指す教養教育科目、広い視野と柔軟な応用力を養う基礎教育科目、国際化に対応する外国語科目、人間力の向上と全人的な成長の基礎となる健全な心身を養う保健体育科目を設置する。</p> <p>【CP3】 工学を専門分野とする学科においては、科学技術及び数学・物理学・化学を基礎とする応用科学を追究するための専門分野の理論と応用を体系的に修得し、実践的な教育を実施できる専門科目を設置する。</p> <p>【CP5】 3年次までに修得した知識やスキルを統合し、問題の発見・解決に取り組み、また未知の真理を探究する卒業研究を行い、これを通して、挑戦力、協働力、課題探究力、論理的批判能力を醸成し、コミュニケーション能力、及び創造的思考力を発揮できる総合的な能力を養う。</p>
様々な分野において、他者と協力しつつ、リーダーシップ・協働力を発揮できる総合的な能力	<p>【DP1】 広範な分野の教養科目を履修することにより、幅広い教養と高い倫理観及び国際情勢を把握できる知識を身に付けている。また、変化する社会状況において実践と省察により、改善する能力を身に付けている。</p> <p>【DP2】 工学における各学科の教育目標に応じて体系的に編成された教育課程の学修により、専門的知識・技術に関わる様々な課題を主体的に発見、分析し、その解決に向かって挑戦する力を身に付けている。</p> <p>【DP3】 卒業研究を通して、文章力、コミュニケーション能力、論理的・批判的思考力、問題解決力及び創造的思考力を身に付け、様々な分野において、他者と協力しつつ、リーダーシップ・協働力を発揮できる総合的な能力を身に付けている。</p>	<p>【CP1】 学習意欲を高める動機付けと、専門教育科目を学ぶ上で必要となる基本的な学習技術を修得させることを目的として、インセンティブ教育科目を設置するとともに、自ら目標を定め、その実現に向けて自ら考え、行動することのできる人材を養成するため、「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1・2」を設置する。</p> <p>【CP3】 工学を専門分野とする学科においては、科学技術及び数学・物理学・化学を基礎とする応用科学を追究するための専門分野の理論と応用を体系的に修得し、実践的な教育を実施できる専門科目を設置する。</p> <p>【CP5】 3年次までに修得した知識やスキルを統合し、問題の発見・解決に取り組み、また未知の真理を探究する卒業研究を行い、これを通して、挑戦力、協働力、課題探究力、論理的批判能力を醸成し、コミュニケーション能力、及び創造的思考力を発揮できる総合的な能力を養う。</p>
変化する社会状況において実践と省察により、改善する能力	<p>【DP1】 広範な分野の教養科目を履修することにより、幅広い教養と高い倫理観及び国際情勢を把握できる知識を身に付けている。また、変化する社会状況において実践と省察により、改善する能力を身に付けている。</p>	<p>【CP1】 学習意欲を高める動機付けと、専門教育科目を学ぶ上で必要となる基本的な学習技術を修得させることを目的として、インセンティブ教育科目を設置するとともに、自ら目標を定め、その実現に向けて自ら考え、行動することのできる人材を養成するため、「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1・2」を設置する。</p> <p>【CP2】 人間と社会及び国際情勢に関する包括的な知識の修得と高い倫理観を醸成し、それに基づく分析力、発想力及び省察力の涵養を目指す教養教育科目、広い視野と柔軟な応用力を養う基礎教育科目、国際化に対応する外国語科目、人間力の向上と全人的な成長の基礎となる健全な心身を養う保健体育科目を設置する。</p>